

# 駐車場の形態による自転車利用者の防犯意識の調査

曾 宇霆（地球科学専攻）

- 1. 目的：**利用者が異なる駐車場を利用するとき防犯意識が変わると想定し、危険な駐車行為を四つに分類し、それらの割合と駐車場の形態の関係から利用者の防犯意識を明らかにする。
- 2. 研究対象：**研究地域はつくば市である。研究対象は筑波大学構内の駐車場、精算駐車場、月極駐車場、無料駐車場にする。
- 3. 研究方法：**SURVEY123 が入る携帯を用いて、各駐車場の位置情報、形態情報、駐車場ごとに駐車台数と危険な駐車行為の件数を記録して、ARCGIS でデータを地図化する。
- 4. 考察・結果：**GPS 端末を利用して記録した駐車場は全部で二十五ヶ所である。図1に示すように、大学構内駐車場は十五ヶ所、月極駐車場が二ヶ所と精算駐車場が三ヶ所はつくばセンター周辺に位置する。無料駐車場はIJAS と COSTCO とパチンコ屋で五ヶ所を調べた。表1に示すように、自転車を 1347 台記録した上で、その中に危険な駐車は

175 台である。それぞれの件数によって割合を計算する。

ロックなし自転車の比率から見ると、月極駐車場だけ低いで、ほかの駐車場が大体同じ水準です。その原因は月極駐車場の利用者は通勤のため駅の付近で駐車しているので、自転車が盗まれたら仕事に悪影響を及ぼすと考え、荷物がある割合も一番低いで、同じ原因と考える。鍵抜き忘れ場合をロックを掛ける必要がないとみなされ、ロックを掛けていない場合と一緒に考えると、一番高いのは精算駐車場である。その原因はロック装置があるため、利用者が自分のロックをかけなくても安全だと思っていると考える。一方で、無料駐車場がロックをかけない場合と荷物がある場合、両方も高いと示している。それらの駐車場は商業施設の入り口に位置しており、常に通行人がいるので、利用者はそれを安全場所と思っていると考える。

分類	総計	鍵抜き忘れ	ロックなし	ロックかけない	荷物ある
大学構内	743	23 (3.10%)	29 (3.90%)	23 (3.10%)	19 (2.56%)
精算	237	12 (5.06%)	8 (3.38%)	11 (4.64%)	3 (1.27%)
月極	231	13 (5.63%)	3 (1.30%)	6 (2.60%)	2 (0.87%)
無料	136	7 (5.15%)	6 (4.41%)	4 (2.94%)	6 (4.41%)

表1 駐車場形態ごとに駐車台数と危険な駐車台数

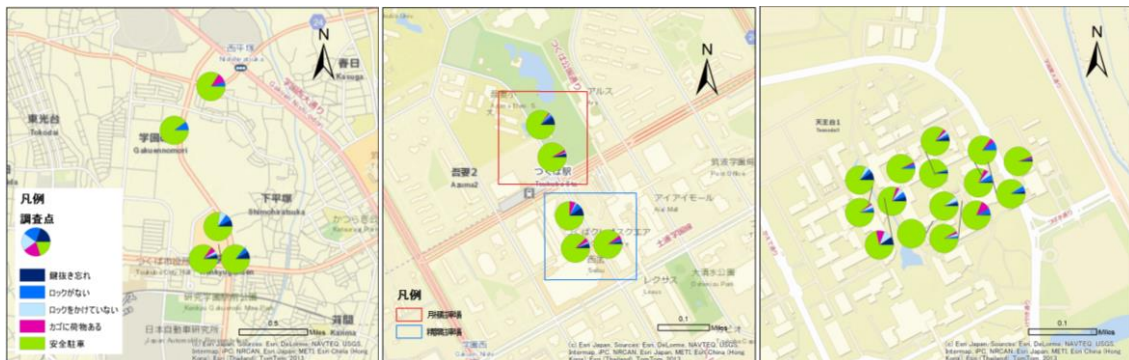


図1 駐車場の分布と駐車行為の比率